

# 元気一番！商店街

2014.6

第31号

## 1 はじめに

夏を間近に控え、だんだんと暑くなってまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

「元気一番！商店街」では、様々な活動を通じて魅力ある商店街づくりに向けた、「元気な取組み」を行う商店街の情報をお伝えしていきたいと思っておりますので、引き続きご愛読をよろしくお願いいたします。

商店街の位置



黒門市場商店街(振)

## 2 黒門市場商店街振興組合（中央区）

さて、本号では、地下鉄千日前線・堺筋線の日本橋駅、近鉄線の近鉄日本橋駅の南東側に位置する「黒門市場商店街振興組合（中央区）」に伺い、商店街の取組みに加え、理事長がお勧めするお店「黒門三平」取材してきました。

### (1) 商店街活性化への取組み

黒門市場商店街は、魚介類や生鮮食品等を多く扱うことで有名な商店街です。店舗の構成は、鮮魚等を扱う物販店が多く、また、新鮮な食材が手に入ることから飲食店等も増えてきています。

当該商店街は、商店街の活性化に向けて様々な事業に取り組んでおり、スタンプカードや抽選会等を実施するほか、特徴的な取組みとして、てっちりのふるまいや、他の商店街との合同イベント等が有名です。

また、昨年秋から「クロモンドセレクション」と銘打った、こだわりの逸品とともに各店をアピールするイベントを実施し、商店街の魅力発信に努めています。

さらに、昨年誕生した商店街のキャラクター「もおんちゃん」も、活性化に一役買っているようで、今年の6月30日（月）から7月5日（日）の6日間、もおんちゃん誕生1周年を記念したスタンプラリーを開催予定です。

黒門市場商店街振興組合



商店街キャラクターの「もおんちゃん」



## (2) 黒門市場商店街振興組合理事長へのインタビュー

理事長の山本さん



黒門市場商店街振興組合の理事長の山本さんに、取組み等について伺いました。

「黒門市場商店街は、昔から『大阪の台所』と親しまれており、新鮮な食材を求めお客様で賑わってききましたが、最近では、観光客も多く訪れるようになりました。特に、ここ数年は海外のお客様が急激に増えており、半数以上が外国の方という光景がよく見られます。この現状を踏まえ、組合では、多言語対応の商店街マップを作成する等、海外のお客様の受け入れ体制の充実に努めております。

また、活性化に向けた取組みとして、トイレ併設の休憩所を商店街内に設置しております。商店街で購入した商品がすぐに食べられると好評で、多くの方に利用いただき、その結果、お客様の回遊が活発になりました。さらに、休憩所にゴミ箱も設置したことでごみのポイ捨ても無くなり、美化にも貢献しています。」

終始笑顔でお答えいただきました山本理事長に、今後について伺いましたところ、「長年続けてきた、近隣の寺社や学校と連携した行事等を通じて、地元から愛される商店街づくりを行いながら、新しいお客様も迎えられるよう、色々な事に挑戦していきます。」と力強くお話しいただきました。

## (3) 水産物販売店「黒門三平（黒門市場店）」

商店街の中ほどに、理事長お勧めのお店「黒門三平」があります。同店は今から10年以上前に、水産物の販売店としてオープンしました。また6年ほど前に、お客様のご要望に応え、イートインコーナーも開設しました。イートインはお客様からとても好評で、お客様が増えるにつれて現在の大きさまで拡充したとのこと。

店舗の様子



店長の川村さん



店長の川村さんによれば、「商品の回転を良くする工夫や効率的な店舗運営に努め、本当に良い食材を手頃なお値段で提供するため、10人ほどのスタッフで頑張っております。また、商品の鮮度にもこだわっていますので、店内にはいくつも水槽を設置し、その場で調理してご提供しています。ほかにも、不定期ですが、週末には店頭でマグロの解体も実施しており、毎回多くのお客様にお集まりいただいております。」

店内水槽には元気な魚がたくさん



最近では、海外のお客様とのコミュニケーションで苦労することもあります。身振り手振りで商品について説明する等の努力を重ねた結果、海外からリピーターとして通っていただけるようにもなりました。

今後ますます、国内外問わず、多くのお客様に最良にしてもらえる店にして、いつかは店舗展開できるようにしたいと考えています。」